

平成27年度 環境目的及び目標一覧表

◎:達成、○:ほぼ達成、△:未達

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち							
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
1-1		大気汚染環境基準達成度の公表	さわやかな空気と静けさを確保する	大気汚染の防止	大気汚染環境基準達成度(二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質)の公表 光化学オキシダント環境基準達成状況の公表	環境基準達成度 100% 光化学オキシダント環境基準達成状況の公表	◎	環境レポートにより公表した。 大気汚染環境基準達成度:100% 光化学オキシダント環境基準達成状況:超過日数60日	生活環境課
1-1		一般地域における騒音調査及び測定(一般地域騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	一般地域における騒音調査及び測定	一般地域騒音環境基準について、市内11地点の騒音を調査測定し、状況を公表する。環境基準達成率90%以上。	○	昼間:100% 夜間:72.7%	生活環境課
1-1		道路交通騒音調査及び測定(道路騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	道路騒音の常時監視における騒音調査を実施する。	測定を100%実施する。	◎	実施率:100%	生活環境課
1-1		新幹線鉄道騒音調査及び測定(新幹線鉄道騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	新幹線鉄道の騒音・振動について調査、測定を実施。測定予定箇所2地点(下堀地区)	100%実施する。	◎	実施率:100%	生活環境課
1-1		地域鉄道の利用促進	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関である地域鉄道の利用促進を図り、自家用車の使用の削減させます。	上田電鉄別所線としなの鉄道の利用促進を図り、自家用車の使用の削減させます。利用啓発活動を行う。	上田電鉄別所線利用者 目標1,200,000人	◎	別所線については、別所線電車存続期成同盟会を中心とした利用促進イベント等を開催し、利用促進に努めた。 しなの鉄道については、沿線市町で構成するしなの鉄道活性化協議会との連携により、利用促進に資する事業を実施した。 別所線輸送人員:1,299千人 しなの鉄道市内4駅乗降者数:5,868千人	交通政策課
1-1		循環バス運行施策	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標55,000人	◎	大河ドラマ真田丸放送の影響があったかもしれないが、循環バス利用者数及びオレンジバス利用者数ともに前年度を上回り、目標を達成できた。 循環バス利用者:30,739人 オレンジバス利用者数:25,556人 合計:56,295人	交通政策課
1-1		まちなかレンタサイクル事業	さわやかな空気と静けさを確保する	自転車を貸し出し、自動車に頼らない市街地移動を推進する	上田駅周辺の放置自転車を整備して貸し出す。貸し出し可能自転車:常時15台	利用者数:4,000人	△	平成27年度の利用者数(延べ)3,168人 対前年度比:3,168人/3,773人=0.840 対前年度までの平均比:3,168人/2,976人=1.065	都市計画課
1-1		レンタサイクル推進事業	自動車からレンタサイクルに乗り換え二酸化炭素を減量する。	レンタサイクル利用でエコな観光施設巡りを体験し、環境負荷軽減を目指す。	ゆきむら夢工房を拠点に、レンタサイクルで観光施設を巡る。	レンタサイクルの利用実績 平成27年度 延べ650台	◎	H27年度目標650台に対し、H27年度の実績が793台あり、大幅に増加した。	真田産業観光課

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち							
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
1-2		合併処理浄化槽設置整備事業(合併処理浄化槽設置整備事業実施基数)	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設6基	◎	補助基数:6基 (全地域補助基数:21基)	生活環境課
1-2		河川水質調査及び検査(主要河川BOD環境基準値達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	市内河川の調査地点について、河川の状況を把握するため水質調査を実施する。また、結果を環境レポート等で公表する。	主要河川のBOD環境基準値達成度100%(年間平均)	◎	年平均100%達成	生活環境課
1-2		地下水水質調査及び検査(地下水環境基準達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内の地下水(井戸水)について、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水質検査を実施する。	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値達成。	○	83%達成 (12地点中10地点)	生活環境課
1-2		地下水水質調査及び検査(地下水質低沸点有機塩素系化学物質の基準値達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内12地点の地下水(井戸水)について、年一回低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン)を含む項目を調査。	低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン)の環境基準値の達成。	◎	100%基準値達成	生活環境課
1-2		水環境保全事業	水環境の保全	水環境の保全に関する意識の啓発を図る。	・水道週間イベント開催補助 ・うえた環境フェア出展	上下水道事業を紹介し水環境保全のための啓発活動を行う。	◎	・10月24日に開催された「うえた環境フェア」へ出展し、環境負荷低減の取組等を紹介した。 ・水道週間に合わせて6月7日に開催された施設見学会とともに環境目標が達せられた。	経営管理課
1-2		公共下水道事業・農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道事業・農業集落排水事業を推進する	・公共下水道計画区域内の未整備箇所の解消	・下水道未整備箇所の解消 7箇所解消	◎	年度末までに、7箇所の未整備を解消した。	下水道課

◎:達成、○:ほぼ達成、△:未達

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち							
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	1-2	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基	◎	年間で4基の申請があり、補助金を交付しました。	丸子市民サービス課
	1-2	排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 60戸 ・水洗化率 90.0%	◎	新規接続152戸	丸子・武石上下水道課

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち							
環境保全項目		有害化学物質による汚染を未然に防止する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	1-3	ダイオキシン類の環境汚染調査(ダイオキシン類環境基準達成率)	有害化学物質による汚染を未然に防止する	有害化学物質による汚染の防止	年一回、一般環境大気5カ所、河川2カ所、土壌3カ所等について調査。	環境基準値達成。	◎	大気5地点、河川3地点、土壌3地点、底質土2地点でいずれも環境基準値達成。	生活環境課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち							
環境保全項目		森や里山を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	2-1	造林事業	森や里山を守り・親しむ	森林の育成・保全を図る	◎森林の多面的機能や公益性を維持するため、継続的な間伐等の整備を行う。 ○私有林(切捨)間伐180haの実施		△	間伐 A=114.85ha実施 (補助申請期間変更 3月末→2月末による減)	森林整備課
	2-1	樹種転換事業	森や里山を守り・親しむ	樹種転換により、松林の保全を図る。	○アカマツ林を全て伐採し広葉樹に植え替えることにより、松くい虫被害の拡大を抑制を図る。 ○被害木7haの樹種転換の実施		◎	・V=6,387㎡の伐倒燻蒸処理を実施 地上薬剤散布 L=9.5km A=22.3ha (中間報告に同じ)	森林整備課
	2-1	松くい虫防除対策事業	森や里山を守り・親しむ	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	○松くい虫被害の拡大を抑制するため、被害木の被害木の全量伐倒駆除の実施 ○被害木6,000㎡の伐倒薬剤処理		◎	・樹種転換事業 手塚地区 地替え2.0ha、全国植樹祭会場 東山地区 更新伐 他 5.2ha の実施	森林整備課
	2-1	公園施設の整備	緑あふれるまちをつくる	公園の整備を促進する。	・上田城跡北・南・天神二丁目駐車場整備工事 N=3箇所 ・市立博物館トイレ整備工事 A=105㎡ ・上田城跡公園バリアフリー化工事 園路舗装 L=300m	旧上田地域の一人当たり都市公園面積を13.29㎡/人とする。	◎	・上田城跡北観光駐車場は3月末に完了し、4月1日に供用を開始しました。 バス専用の上田城跡南駐車場と普通車専用の天神二丁目駐車場は12月末に完了しました。 ・トイレ整備は12月末に完了しました。 ・園路舗装工事L=146.8mが1月末に完成しました。	公園緑地課
	2-1	天然記念物の保護	天然記念物の保護及び生息地の環境保全に努める	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	・天然記念物の増加 マダラヤンマ、ミヤマモンキチョウ・ミヤマシロチョウ・ベニヒガガ等 ・食草であるクロマメノキの保護	◎	・市指定文化財のマダラヤンマとその生息地の保護パトロールは、地元のボランティアで予定通り実施した。	文化振興課
	2-1	アレチウリ、ブタクサ駆除	自然保護・活用	真田地域全域でアレチウリ、ブタクサ駆除活動を推進します。	アレチウリ、ブタクサ駆除の実施	地域内の河川、公共道路の一言駆除私有地の所有者への駆除指導	◎	上半期の実績どおり	真田市民サービス課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち							
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	2-2	農業用水路の多自然型水路整備箇所	自然・生き物・人が共生するまち	農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	地元への啓発活動	地元からの要望を受け、順次整備を図る	○		土地改良課
	2-2	多自然河川整備状況	自然・生き物・人が共生するまち	ホタル水路の環境整備を図るとともに、啓発活動に努める。	地元との協働により、市役所ロビーにおいて、啓発ポスターを掲示。	ホタル水路に係る啓発活動	○		土地改良課
	2-2	河川愛護活動(河川愛護団体数)	水辺環境を守り、親しむ	持続可能な水環境の保全	河川愛護活動の実施	河川愛護活動を実施した団体数 52団体	◎	上田地域:57団体 丸子地域:23団体 真田地域:10団体 武石地域:2団体	生活環境課

◎:達成、○:ほぼ達成、△:未達

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち							
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	2-2	水生生物調査及び支援	水辺環境を守り、親しむ	持続可能な水環境の保全	水生生物調査及び支援	13ヵ所で実施。	◎	13ヵ所で実施した。	生活環境課
	2-2	① 多自然型水路整備	1 自然・生き物・人が共生するまち	① 農業用水路において環境に配慮した工法を推進します。	①多自然型水路を1箇所整備する。	①実績数値による。	◎	・陣場水路 事業量 L=10.2m 内容 自然石水路	丸子建設課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち							
環境保全項目		農環境を守り・親しむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	2-3	認定農業者(担い手)の確保	農地の保全・活用	担い手の確保により農地の保全・活用を図る。	担い手農家となる認定農業者の更新と、新規認定の促進	認定農業者数合計 27年度目標 合計245経営体	△	2月審査会開催20件の認定(内、新規1件) 3月末時点で230経営体となりました。	農政課
	2-3	荒廃農地の再活用	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	農地の再生利用の促進	補助金交付により再生が実施される面積 27年度目標 8,0ha	△	なかなか厳しい現実もあり、目標値には至らなかった。	農政課
	2-3	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 27年度目標 80ha	◎	目標値を超える実績となった。	農政課
	2-3	農業法人(担い手)の確保	農地の保全・活用	担い手となる農業法人の確保により農地の保全・活用を図る。	新たな法人の設立への支援	集落営農組織の法人化の検討 2件	△	具体的な検討には至らなかった。	農政課
	2-3	遊休荒廃農地の解消(活用)による農地の有効利用	農環境を守り・親しむ	農地と農環境の保全 (数値目標平成27年度遊休荒廃農地解消面積10ha)	・遊休荒廃農地の解消(活用) ・利用状況調査の実施 ・新規発生分の意向調査実施	・補助事業等を活用した遊休荒廃農地の解消 ⇒27年度解消目標面積10ha	○	・利用状況調査の実施、これを受けての利用意向調査の実施、更に情報の有効利用のための「全国農地ナビ」への情報の反映による遊休荒廃農地の解消、農地の有効利用	農業委員会事務局
	2-3	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。 (数値目標 平成27年度8ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 26年度末12.4ha →27年度目標8ha	◎	公告するため、提出のあった農用地利用集積計画を定期的に報告した。 面積 10.7ha を達成した。	真田産業観光課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		循環型社会の形成に努める							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	3-1	生ごみ堆肥化事業	循環型社会の形成に努める	循環型社会の形成に努める	1 生ごみ堆肥化モデル事業 2 ごみ減量化機器購入費補助事業 3 乾燥生ごみと野菜等との交換事業 「やさいまる」事業	1 乾燥生ごみによる堆肥化の実証実験の実施 やさいまる事業…ポイント交換数延べ1,000回 2 ごみ減量化機器利用者増加 補助台数380台 3 1人当たりのごみ排出量の減少	○	1 生ごみ堆肥化モデル事業 小中学校6校、保育園1園から生ごみを回収し、試験施設で堆肥化 実績7.4t (昨年同比0.1t減) 製造した堆肥の農地での実証実験の実施 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 ・広報うたなどで補助制度を周知 ・補助実績(容器、処理機) 998台 3 やさいまる事業 ・乾燥生ごみを回収しポイント付与 ・回収量(乾燥重量) 897kg ・ポイント交換数48回	廃棄物対策課
	3-1	ごみの減量化及び再資源化の推進	循環型社会の形成に努める	廃棄物の減量・リサイクルの推進	1 職員のごみ減量化の取組強化 2 キャッチフレーズを活用した、市民へのごみ減量化・再資源化の啓発	1 広報や自治会説明会を通じた周知 2 市民モニターを募集し、減量効果のデータ収集	◎	1 職員のごみ減量化について、正規職員1,069人に取組を行っていたが、実施期間(平成27年5月から平成28年3月まで)において、推計値で約51トンの減量効果があった。 2 キャッチフレーズを活用した「ごみ減量化・再資源化啓発ポスター」は各自治会、市施設関係担当部局、長野県上小地方事務所等に約500枚配布し、各所に掲示等を実施した。	資源循環型施設建設関連事業課
	3-1	給食の調理及び配送	廃棄物排出量の抑制	環境にやさしい給食作りと配送業務(食品残渣の減少)	① おいしい給食づくり ② 残菜量の削減 ③ 地場産農産物の使用	① 安心・安全でおいしい給食づくり ② 電気・ガス・水道の使用量の削減 ③ 残菜量の削減	○	野菜の切り方や、ダシのとりかたを工夫して、おいしい給食を目指し、その結果として残菜が減っている。(1人当たりの残菜量 7.8g)	第一学校給食センター
	3-1	給食業務の環境への取り組み	食品廃棄物の抑制と再利用	環境にやさしく、安全で安心なおいしい給食づくり	①食品残渣減少の取り組み(残菜調査、学校訪問、児童・保護者へのPR) ②食品残渣の飼料としての利用 ③地元農産物の使用 ④BDF燃料の使用量	①② 食品残渣の発生量 ③ 地元農産物の使用量 ④ BDF燃料の使用量	○	高学年への学校訪問は回収業務を兼ねて実施したので、14校すべてに行くことができ、多くのパート職員も参加し有意義だった。 施設見学は2校(7クラス)、試食会は5校(10回)実施した。 地元農産物については、使用量が増加している。	第二学校給食センター
	3-1	各種大会時のごみ減量の啓発	ごみ減量の促進	ごみ減量の啓発	各種大会等	各種大会時ごみ減量の啓発	◎	各種大会資料、会議資料を2in1や両面印刷するなど削減に努めた。	スポーツ推進課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		循環型社会の形成に努める							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	3-1	丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域を広くつむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催(委託) 11月1日 開催予定	来場者予定数 700人 アンケートによる来場者満足度 80%以上	○	10月7日 第一回役員会 開催 10月14日 第二回実行委員会 開催 10月20日 第二回役員会 開催 10月29日 全体会議 開催 11月27日 前日準備 11月28日 丸子消費生活展開催、来場者数 500人、来場者満足度 97.44% 1月12日 全体反省会	丸子市民サービス課
	3-1	ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 30件 (前年度比 50%増)	◎	補助金交付件数 (3月末:確定) 123件 *前年度比 586%	丸子市民サービス課
	3-1	資源物回収用具収納施設設置費補助事業	循環型社会の形成に努める	資源物回収用具設置に関する補助や情報提供を進める。	資源物回収用具収納施設設置に対する自治会への補助金交付	補助金交付件数 1件	◎	補助金交付の要望が無かった。	丸子市民サービス課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち																																							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する																																							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課																																
	3-2	上田市関係機関からの温室効果ガス総排出量の削減	地球温暖化防止活動を推進する	エコオフィスうえだの推進	・「第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。 ・長野県に「温室効果ガス排出抑制計画」を提出し、推進を図る。	市の事務事業の遂行に伴い排出される温室効果ガスの総排出量を、第三次の目標年度である平成29年度までに平成23年度を基準として、1.0%削減。	◎	夏・冬の節電対策を実施し、エコオフィス活動を推進した。	生活環境課																																
	3-2	公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	地球温暖化防止活動を推進する	公共施設の地球温暖化対策の推進	公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	全庁的な取組体制により、公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討を進める。	◎	屋根貸し6施設、土地貸し1ヵ所で発電を開始した。	生活環境課																																
	3-2	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	(1) 太陽光発電システム設置費補助 348件 (2) 太陽熱高度利用システム設置費補助 18件	○	太陽光発電: 309件 太陽熱利用: 7件	生活環境課																																
	3-2	環境家計簿の配布	地球温暖化防止活動を推進する	家庭版ISOの普及を推進する	・広報等へ募集掲載 ・環境家計簿の配布・回収・評価	うえだエコ隊参加(環境家計簿回収) 家庭数 5世帯	△	回収数は1件のみであった。	生活環境課																																
	3-2	国際規格審査登録助成事業	環境にやさしい人を広くつむ	ISO14000等の国際規格を導入する事業者に対する補助金の交付	補助制度によりISO14000等の国際規格の取得を支援	事業所を訪問し、助成制度について説明する。(10件)	◎	①事業所訪問による周知(7件、年間10件)	商工課																																
	3-2	クールビズの実施による省エネルギー行動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまち	地球温暖化防止活動を推進する	クールビズ(ノーネクタイ、軽装勤務の励行)による、適正空調利用の促進	実施により職員及び来庁する市民の環境に対する意識の向上を図る。	◎	予定通り実施した。	総務課																																
	3-2	庁舎管理	地球温暖化対策	地球を守る	・電気使用量の削減 ・燃料使用量の削減 ・コピーの使用枚数の削減	・前年度の使用量より削減	◎	<table border="1"> <caption>使用量の比較</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>増減(+/-%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>67,234</td> <td>66,313</td> <td>-921</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>12,064</td> <td>13,372</td> <td>1,308</td> </tr> <tr> <td>灯油</td> <td>4,767</td> <td>4,367</td> <td>-400</td> </tr> <tr> <td>A重油</td> <td>50,000</td> <td>48,000</td> <td>-2,000</td> </tr> <tr> <td>都市ガス</td> <td>41,499</td> <td>32,756</td> <td>-8,743</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>1,337,802</td> <td>1,281,756</td> <td>-56,046</td> </tr> <tr> <td>コピー</td> <td>73,632</td> <td>70,851</td> <td>-2,781</td> </tr> </tbody> </table>		26年度	27年度	増減(+/-%)	ガソリン	67,234	66,313	-921	軽油	12,064	13,372	1,308	灯油	4,767	4,367	-400	A重油	50,000	48,000	-2,000	都市ガス	41,499	32,756	-8,743	電気	1,337,802	1,281,756	-56,046	コピー	73,632	70,851	-2,781	契約管財課
	26年度	27年度	増減(+/-%)																																						
ガソリン	67,234	66,313	-921																																						
軽油	12,064	13,372	1,308																																						
灯油	4,767	4,367	-400																																						
A重油	50,000	48,000	-2,000																																						
都市ガス	41,499	32,756	-8,743																																						
電気	1,337,802	1,281,756	-56,046																																						
コピー	73,632	70,851	-2,781																																						
	3-2	うえだ環境フェア(消費生活展)の開催	地球温暖化防止活動を推進する	市民の環境配慮行動の推進	うえだ環境フェアの開催 10月24日(土)	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	来場者数: 1,030人 満足度: 93%	生活環境課																																
	3-2	LED防犯灯設置基数補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	LED防犯灯の新設補助及び防犯灯のLED交換の補助	新設 147基 交換 2,083基	◎	新設 194基 交換 3,008灯	生活環境課																																
	3-2	太陽光発電設備の設置	新エネルギー事業の推進及び環境教育の推進	公共施設における太陽光発電の導入を促進し、併せて環境意識の啓発を図る	保育施設の改築建替に伴う太陽光発電設備設置を検討する	神川統合園の園舎設計において、太陽光発電設備の設置を検討する。	○	・7月に神科第一保育園の屋根貸しによる太陽光発電「神科おひさま発電所」が始まり、園舎内に園児にも発電状況がわかるモニターを設置してもらい環境教育を行った。 ・塩田中央保育園太陽光発電設備の修繕を予定していたが、予算が足りず実施できなかった。	保育課																																
	3-2	税務業務の効率的運営	e-L-TAXサービスの拡充の取り組みとエコオフィスの推進	e-L-TAXサービスの拡充による業務の改善及び市民サービスの向上とエコオフィスの推進	利用事業主、税理士への通知の送付や広報うえだ、市のホームページ・行政チャネル等を活用したe-L-TAXの利用推進。	申告におけるe-L-TAXサービスの利用件数割合 法人市民税 58% 給与支払報告書 33% 償却資産 16%	◎	1月から電子申告が集中するため、10月から事業者、税理士等にeL-TAX利用の推進チラシ等を配布した。eL-TAX利用により、事務の効率化が図られた。4月～3月のeL-TAXサービスの状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用件数</th> <th>全体</th> <th>利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法人市民税</td> <td>3,315件</td> <td>5,992件</td> <td>55.3%</td> </tr> <tr> <td>給与支払報告書</td> <td>26,046件</td> <td>97,870件</td> <td>26.6%</td> </tr> <tr> <td>年金支払報告書</td> <td>74,320件</td> <td>74,728件</td> <td>99.5%</td> </tr> <tr> <td>償却資産</td> <td>794件</td> <td>5,046件</td> <td>15.7%</td> </tr> <tr> <td>国税連携</td> <td>32,793件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		利用件数	全体	利用率	法人市民税	3,315件	5,992件	55.3%	給与支払報告書	26,046件	97,870件	26.6%	年金支払報告書	74,320件	74,728件	99.5%	償却資産	794件	5,046件	15.7%	国税連携	32,793件			税務課								
	利用件数	全体	利用率																																						
法人市民税	3,315件	5,992件	55.3%																																						
給与支払報告書	26,046件	97,870件	26.6%																																						
年金支払報告書	74,320件	74,728件	99.5%																																						
償却資産	794件	5,046件	15.7%																																						
国税連携	32,793件																																								
	3-2	市営住宅の管理	環境負荷の低減(口座振替の推進、入居者への環境啓発)	事務事業の効率化と環境啓発	①全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 87.10%以上	○	当初の計画どおり、6月及び1月に全入居者への通知で「節電、節水を呼びかける言葉」を入れ、環境啓発に努めた。 口座振替率については、入居説明会の際に奨励を行った結果、新規入居者は100%となった。全体では、87.6%となった。	住宅課																																

◎:達成、○:ほぼ達成、△:未達

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	3-2	各監査、審査及び検査の実施	環境に配慮した事務事業の改善	監査等の際に事務事業の改善を指導	・例月現金出納検査(毎月) ・定期財務事務監査(6月～1月) ・決算審査、財政健全化判断比率等の審査(6月～8月) ・行政監査(4月～10月) ・財政援助団体等監査(10月～1月)		◎	平成27年監査方針、実施計画に基づき、各種監査・審査・検査等を実施した。 ・例月現金出納検査(毎月) ・決算審査、健全化判断比率等審査(8/26理事者、議会報告) ・行政監査(11/9部局講評 11/16理事者報告) ・定期財務事務監査、財政援助団体等監査(2/16理事者、議会報告)	監査委員事務局
	3-2	防犯灯修繕(LED化)補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	地域内の全防犯灯を平成23年度から5年計画でLED照明へ交換する。	申請に対する補助金の交付	防犯灯のLED照明への交換(537基/2,469基)	○	LEDへの交換 基数 530基	丸子市民サービス課
	3-2	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	補助金交付件数 60件(前年度並)	○	申請件数(3月末) 43件	丸子市民サービス課
	3-2	市民サービス課所有車の燃料使用の抑制	市民サービス課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民サービス課が所有する全庁用車12台のガソリン、軽油使用量の削減	・ガソリン(10台分) 使用量…昨年度から1%削減 年度末 2,790ℓ ・軽油車(2台分) 使用量…昨年度から1%削減 年度末 2,210ℓ	△	3月末実績 ガソリン・・・3,397リットル 軽油・・・2,428リットル	丸子市民サービス課
	3-2	環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する。	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し事業者を支援する。	工業3団体への説明会の実施 団体会員への取得支援の情報を年2回以上情報提供する。	1社以上の取得を目指す。	○	情報提供は計画通りに実施したものの、取得を希望する企業は無かった	丸子産業観光課
	3-2	移動図書館車の運行	地域資源を活かし地球にやさしいまち	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行(丸子・武石地域、年間約150日運行)	貸出冊数 21,000冊	◎	10月～3月まで 移動図書館車の運行(丸子・武石地域 73日) 計150日 貸出数10,964冊 計22,419冊	丸子図書館
	3-2	丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。<事業周知時における呼びかけ>	左記事業における呼びかけチラシによる啓発	駐車台数の削減	○	特に平成27年11月3日開催の『ルパンジャズライブ』は全席完売で満席であり、(懸念)ノケンシ駐車場の借り上げも不可能だったのにもかかわらず、乗り合わせでの来場で駐車場不足や周辺道路等への違法駐車もなく開催する事が出来た。	丸子地域教育事務所

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち							
環境保全項目		地域資源を有効利用する							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	3-3	1 雨水貯留槽補助	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める	雨水貯留施設設置費補助	32件	△	16件	生活環境課
	3-3	雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 8件	△	申請件数0件	丸子市民サービス課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち							
環境保全項目		歴史・文化を未来に引き継ぐ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	4-1	文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への2件以上の登録	○	・3月17日に2回目の文化財保護審議会を開催し、市指定文化財1件(飯沼の郷倉)の答申があり(指定は28年度)、指定候補物件として信州大学繊維学部旧同窓会館を諮問した。	文化振興課
	4-1	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①博物館講座ほか左記のとおり ②観覧券・しおり・ポスター・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆インクを使用する(100%)	○	来館者は、115,763人である。	上田市立博物館
	4-1	信濃国分寺資料館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	①歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 ②環境にやさしい施設運営(リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る)	①史跡見学会ほか左記のとおり ②公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	①来館者数 ②リサイクル率100%	○	・入館者は、5,137人。	信濃国分寺資料館

◎:達成、○:ほぼ達成、△:未達

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま							
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
4-2		景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図る	・広報うえだ、行政チャンネル等でのPR ・補助件数15件(予定)	・補助金を出した生垣の延長(本年度延長150m)	○	下半期は、樹木の植え付けに適さない季節のため、2件にとどまった。 年度末の状況は、10件、540,150円となり、26年度の6件、238,328円に比して、件数で66.6%増、金額で226.6%増となり、一定の効果が得られたものと考えている。	都市計画課
4-2		花と緑のまちづくり推進事業の実施(1)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数 800人以上 ① ・種から育てる花づくり講習会の開催3回 ②③④	・花の種銀行会員数(延べ口座開設者 801人) ・花づくり講習会 開催回数 年間3回	◎	①花の種銀行 口座開設者919人 ②花づくり講習会:5月に実施しました。 ③花づくり講習会:8月に実施しました。 ④花づくり講習会:3月に実施しました。	公園緑地課
4-2		花と緑のまちづくり推進事業の実施(2)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花苗配布 141,000本 ①②	・地域自治会等に配布する花苗本数(141,000本)	○	①花苗配布(夏苗):6月に実施しました。 ②花苗配布(秋苗):10月に実施しました。 花苗配布合計135,963本	公園緑地課
4-2		街路樹植樹事業	緑あふれるまちをつくる	街路樹の植樹延長を増やし、まちに潤いとやすらぎをもたらす	街路樹の植樹予定なし	街路樹の整備が望まれる路線立上げの検討	△	来年度(平成28年度)実施計画において、新規路線の立上げを目論見ましたが、一部の路線は事務査定において「項目計上」となり、今年度の目標達成は厳しい状況となりました。	都市計画課
4-2		緑地の保全(染屋台グリーンベルト保全事業)	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年5回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全(地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和)の面から積極的に保全をする必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	◎	①～⑤里山整備ボランティア:実施済み	公園緑地課
4-2		公園施設長寿命化対策支援事業	ライフサイクルコストの削減	都市公園のストックマネジメント	公園施設改築・更新 N=1公園	対象公園数 39公園	○	公園施設改築・更新を2公園実施しました。(上田城跡公園、西部公園)	公園緑地課
4-2		花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1 住民参加のための施策検討①②⑤⑧ 2 住民参加による緑化③④⑥⑦⑨⑫ 3 住民環境啓発⑩⑪⑫	②新規団体受付、植栽場所検討 ③住民による花苗植栽 3,000人 ④コンクールへの参加 ⑦球根植栽団体 ⑩講習会への参加	○	8月 ⑤70団体の花壇撮影(9/4～10/2・1階ロビー展示)(10/2～11/11・4階講堂(紅葉展覧)) 10月 ⑦10/27 チューリップ球根配布(7,600球配布) 11月 ⑧11/5 BP公園、交差点花壇(チューリップ・ビオラの)秋植え ⑨11月中旬 申し込み通知(71団体) ⑩11/21 花壇コンクールの表彰式(サントミュージアム)・最優秀賞(上平南自治会・依田保育園) 受賞 3月 ③4 花壇カテ配布(56団体) ⑩3/15肥料の配布	九子建設課
4-2		住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が九子ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1 ボランティアによる花壇管理①～⑥	①～⑥ボランティア参加者 150人	○	10月 ・10/21 九子ベルパーク公園の掘り起し(12名参加) 11月 ④、⑤ 11/5 チューリップ(320球)・ビオラ(300本)の植栽(17名参加) ・1月1日 『2016 花だより』九子地域全戸配布(N=8,000部) ・年間ボランティア延べ人数 188名(含む水くれ等 延べ74名) 3月 ⑩ 3/15 肥料等の配布	九子建設課
4-2		武石地域公園化構想による地域づくり	すぐれた景観の保全	桜並木の維持管理を推し進め、緑の空間の保全	緑の景観づくりを目指す。	生育経過観察(除草・獣害被害経過観察)	◎	当初作業計画どおり H27.8.31までに完了、その後は生育経過観察を実施。	武石産業建設課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま							
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図る	自主的なルールづくりに向けた推進の高まってきた地区に対して、協定締結に向け、指導・助言をする。	認定数(1)	○	自治会内にまちづくり協定の部門を組織することが決定しました。	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発	景観ウォッチングの実施	景観ウォッチングの実施(2回)	◎	今年度2回目を、10月31日に予定どおり実施し、16名の参加があった。 年間を通じて、募集定員に対して50%の参加率ではあるが、行程における交通等の安全を考えると好ましい参加人数であると考えている。	都市計画課
4-3		景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり市民団体等の認定	景観づくり市民団体及びアダプトシステム協定締結団体等の検討	景観づくり市民団体の数、及びアダプトシステム協定箇所数(各1)	△	新たに、景観づくり市民団体の認定及びアダプトシステム協定締結を行った団体はなかった。 ただし、アダプトシステムの引き合いが1件あったが締結には至らなかった	都市計画課
4-3		ごみゼロ運動の参加人数	調和のとれた美しい景観を保つ	地域美化活動の推進	ごみゼロ運動の実施(県下一斉で年一回)	参加人数 10,000人	◎	10,093人が参加した。	生活環境課
4-3		放置自転車の撤去及び処分	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	上田駅周辺の放置禁止区域における自転車等の駐車をなくします	放置禁止区域における警告書の貼付	放置自転車撤去件数 年180台以下	◎	28年3月末 放置自転車撤去件数 62件	管理課

◎:達成、○:ほぼ達成、△:未達

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま							
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	4-3	犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼 (随時)	苦情件数 10件以下	◎	年間を通して、1件の苦情件数(犬の鳴き声がうるさい)ありませんでした。	九子市民サービス課
	4-3	上田市ボイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ボイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班 月3回 延べ144回 不法投棄ごみの量 6,530kg (前年度比10%削減)	◎	パトロール回数 144回 不法投棄ごみの量 6,530kg (3月末:確定) (目標に対して、▲1,160kg)	九子市民サービス課
	4-3	ゴミゼロ運動の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回) 5月末に指定日 丸子地域は自治会ごとに実施 ボイ捨て・不法投棄等の収集	参加人数 2,710人 (前年度比30%増)	○	参加人数 2,411人 (ゴミゼロ運動期間:4月1日～5月31日の参加人数) 前年比16%増	九子市民サービス課
	4-3	河川パトロール・清掃の実施	調和のとれた美しい景観を保つ	地域の環境美化活動を推進する	河川パトロール及び河川清掃(依田川・内村川・堀川・沢・穴ノ沢) 年2回	河川パトロール・清掃実施(夏・秋の年2回、参加6団体)	◎	秋の河川パトロール 10月22日(木)実施 参加 6団体 20名参加	九子市民サービス課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち							
環境保全項目		環境にやさしい人をはぐくむ							
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	5-1	環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ばっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児及び保護者が興味を示すこと	○	・「ばっくん」を活用し、給食調理で発生する生ごみの一部をたい肥化した後、園内の菜園で利用し、環境教育を行うとともに、生ごみの減量について周知を行った。	保育課
	5-1	新技術等開発助成事業	環境にやさしい人をはぐくむ	環境にやさしい新技術等を開発する事業者に対する支援	助成制度についての周知及び助成の実施	事業所を訪問し、助成制度について説明する。(20件)	◎	①事業所訪問による周知(6件、年間23件)	商工課
	5-1	地域福祉の調整及び推進に関すること	環境教育の推進	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等の推進	①毎水曜日のリサイクル回収(ピン・缶)時での啓発。 ②地域協議会における地域(環境)課題に対する対応。 「わがまち魅力アップ応援事業」の受付 ③自治会要望の取りまとめと本庁との調整(環境関連) ④窓口での転入者等へのゴミ回収等の指導	①リサイクル回収の回数 ②環境活動や啓発の教等	◎	①リサイクル回収について、立会うことができないため、回収場所に、文書等の掲示をして、違反の注意や啓発を行なった。 ②わがまち魅力アップ応援事業について、適切に受付を行なった。 ③9月提出の自治会要望について、取りまとめを行い、関係課と調整を行なった。 ④窓口で転入手続きをされた方に、ゴミ回収についてのパンフレットを渡し説明を行なった。	川西地域自治センター
	5-1	各種講座・里山づくり支援	環境教育の推進	環境に対する市民の意識を高揚する。	里山地帯の地域づくり講座6回、花と庭づくり教室8回、自然に親しむ講習会1回	成人教育及び青少年教育において、環境に関する講座を開催し、環境への意識を高める。	○	・里山地帯の地域づくり講座(6回) ・花と庭づくり教室(8回) ・太郎山虚空蔵山縦走路整備ボランティア(2回) ・太郎山虚空蔵山縦走路トレッキング(2回)	西部公民館
	5-1	公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察講座 4回、野鳥観察講座 2回 風穴講座 4回、水生生物観察講座 1回 わいわい塾(工作教室 3回、自然体験、エネルギーショー) 工作教室 1回、暮らしイキイキ講座 4回	青少年、成人教育で環境に関する講座を開催し、環境に対する意識を高める。	◎	各講座ともほぼ予定どおり実施できた。特にわいわい塾の工作教室では、地域の大人たちの協力も得て、鳥の巣箱を子ども達が製作し、市民の森に設置することができた。	上野が丘公民館
	5-1	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに本の紹介、テーマ本展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。11月の図書館まつりでは本のリサイクル市などを行い、本の有効利用を図る。		○	本のリサイクル市の開催 10月 上田図書館 準備した冊数 4,748冊、持ち帰り冊数 2,825冊、来場者数 283人 12月 創造館 準備した冊数 2,286冊、持ち帰り冊数 1,560冊、来場者数 119人	上田図書館
	5-1	文化芸術振興事業		市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 チラシ・パンフレット等の印刷物に、古紙・大豆インク使用のマークを記載	◎	各イベントのチラシ・パンフレットを計画に沿って再生紙及び大豆インクを使用して作成した。	文化振興課
	5-1	自然を守り、環境美化活動	自然を大切にし、環境にやさしい人を育む	利用者への環境啓発	1、周辺の森林下草刈で、樹木の活性化。 2、環境美化啓発。 3、利用しやすい施設及び環境づくり。	①利用者数。 ②水道使用量。 ③灯油量削減。	○	①89,067人 ②27640m ³ ③1687ℓ	自然運動公園管理事務所

